

7節 マスチック塗材塗り

15. 7. 1 一般事項

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面及びALCパネル面に、マスチック塗材を多孔質のハンドローラーを用いて塗る工法に適用する。

15. 7. 2 材料

(1) マスチック塗材塗りは、表15. 7. 1により、○印の工程を行い、種別は、特記による。

表15. 7. 1 マスチック塗材塗り

工 程	種別		塗材その他	商 品 名 希釈剤・希釈率	塗付け量 (kg/m ²)
	A種	B種			
素地 ごしらえ	○(注)1		18. 2. 5 [モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ]又は18. 2. 6 [コンクリート面、ALC パネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ]による。		
1 下地押え	○	—	合成樹脂エマルジョンシーラー	—	0.12
	—	○	マスチックC用シーラー	—	0.12
2 塗材塗り	○	—	マスチック塗材A	—	1.20
	—	○	マスチック塗材C	—	1.80
3 仕上材 塗り	—	○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り	—	0.20

(注) 1. 素地ごしらえの種別は、塗材その他の欄による。

2. 押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18. 2. 6 [コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ]によるB種とする。

(2) マスチック塗材は、マスチック塗材の製造所において調合されたものとする。

(3) マスチック塗材は、施工に先立ち、かくはん機を用いてかくはんする。

(4) 塗付けは、下地にくばり塗りを行った後、均し塗りを行い、次にローラー転圧によりパターン付けをして、一段塗りで仕上げる。

(5) 塗継ぎ幅は、800 mm程度として、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。

(6) パターンの不ぞろいは、追掛塗りをし、むら直しを行って調整する。

日本ペイントの対応商品は、下記ホームページをご参照ください。

JIS A 6909 建築用仕上塗材 規格と組合せ一覧表

<http://www.nipponpaint.co.jp/tips/JIS2.pdf>